

なごみ 日和 vol.22

和水町の活躍している
人を紹介しています



子育てサロン和く和く
主宰 近藤 明枝さん



子育て経験を活かして、和水町の親子の笑顔を増やしたい

自宅で子育てサロン「和く和く」を主宰している近藤明枝さん。2男2女、4児の母です。自分の経験をもとに、子どもと一緒に過ごす時間が楽しくなる子育て講座や個別相談などを行っています。

近藤さん自身、子どもの気管支炎で悩んでいた時期に、時間もお金もかけずに整えられる食生活の知恵を学び、子どもの体調が良くなった経験があります。また、少食の子どもに食べさせなくてはと悩んだ時期もあったそうですが、子どもは成長に合わせて自ら食べるようになるので大丈夫だと気づきました。子どもの力を信じて見守れば元気に育つことを経験したことで子育てが楽しくなったそうです。

また、近藤さんは、赤ちゃんのうちから時々おむつをとって排泄させる子育てを実践しています。子どもがおむつの外で排泄する気持ち良さを感じ続けることで、おむつはずしも苦労しないそうです。少し昔では家庭で普通にされていた知恵だと教えてくれました。

サロンには妊婦さん、乳幼児・小中学生のお母さん、子育てがひと段落した人、保育士さんなど幅広く参加しています。新型コロナウイルスのため一年

前からオンライン講座や交流会を始めたところ、ブログ「昔ながらのわくわく子育て」の読者さんなど全国から相談がくるようになったそうです。

これからは「和水町の親子の笑顔を増やしたい」「和水町で産みたい、育てたいと思える人を増やしたい」という想いで『なごみ次世代応援隊』という有志団体のママ達と『なごみ子育てほっとROOM』を立ち上げました。妊婦さん、0歳～高校生まで年齢を超えて親同士、子ども同士が交流できるサロンの無料開放やおゆずり会などおこないます。ROOMにLINE登録すると、時短レシピが受け取れるそうですよ。関心のある方は登録してみてください。



協力隊活動記 Vol.41

こんにちは。地域おこし協力隊の水上和磨です。私事で恐縮ですが、今年2月に長女が誕生しました。家の周りを散歩しているとご近所の方に声をかけてもらい見守られていると感じます。さて、3月から中林にある空き家の改修に取り組んでいます。改修後は町のお試し住宅として、和水町に移住を検討している方がお試し滞在できる場所になる予定です。改修過程は協力隊のSNSで発信していますので、関心のある方はぜひご覧ください。